

「騎士道」と「和魂洋才」が織りなす日独リート・デュオ

トーマス・パウアー（バリトン）とウタ・ヒールシャー（ピアノ）のリートデュオ（歌曲二重奏）がドイツ・フライブルクの「Ars Musici」レーベルから最初のCD、シューマンを出した時、あまりに美しい声に驚いた記憶がある。カヴァリエ・バリトン。「ドン・ジョヴァンニ」や「エフゲニー・オネーギン」の題名役、「タンホイザー」のヴォルフラムなど貴族的なキャラクターを演じるのに適した気品、柔らかさを兼ね備えたバリトンはイタリア人に多く、ドイツ人には少ない。パウアーはドイツが久々に生んだカヴァリエ・バリトンだった。

「レコード会社が歌手の専属契約で縛り、オペラの全曲盤を競って録音するようになった1950年代以前にはドイツ人のベルカント、イタリア人のヘルデンとも、もっと当たり前存在した」。パウアーと同じミュンヘンを本拠とする日独ハーフのオペラ指揮者、準・メルクルは「歴史のトリック」をこう説明する。

1950～80年代のレコード産業全盛期、日本でドイツリート（歌曲）受容は発音に厳格なディートリヒ・フィッシャー＝ディースカウ（バリトン）やエリーザベト・シュヴァルツコプフ（ソプラノ）、より天衣

無縫でカヴァリエ風のヘルマン・プライ（バリトン）を中心に進んだ。パウアーは前者の言語能力と緻密さ、後者の美声を兼ね備えた新しい時代のリート歌いである。自然な歌心は故郷であるレーゲンスブルクの大聖堂で世界的に有名な少年聖歌隊に属して以来、生来の資質に知的でプロフェッショナルな磨きをかけてきた成果である。

私生活でも長年のパートナーのウタ夫人は「南ドイツ新聞」の東京特派員を長く務めたゲップハルト・ヒールシャーさんとピアニストだった恵子夫人の間に生まれ、東京で育った。夫君とのデュオ録音ではピアノが、同曲異盤より大きめの音量で収められているため、シューマンや R・シュトラウスがいかにも、ピアノにも素晴らしい音楽を与えたかがよくわかる。世界最大のレーベル、「NAXOS」でのシューマン・ツィクルスの録音を経て東京へ還り、「詩人の恋」と向き合う。きりと吟味され、美しい響きに満ちたリートの世界と再び出会えるはずだ。

（池田卓夫=音楽ジャーナリスト）



Photo: Marco Borggreve

トーマス・パウアー（バリトン） Thomas Bauer

トーマス・パウアーは、レーゲンスブルグ大聖堂聖歌隊で最初の音楽教育を受け、ミュンヘン音楽演劇大学を卒業。

2014年ザルツブルグ音楽祭「二つのモーツァルト・マチネー」（マンフレッド・ホーネック、アダム・フィッシャー）をはじめ、演劇アンサンブル『ラ・フラ・デル・パウス』による、オルフ作曲「カルミナ・ブラーナ」、シュタイアルテ音楽祭では、ヨーロッパ室内オーケストラ（ニコラウス・アーノンクール）とオッフェンバック作曲「青髭」、バーゼル歌劇場でプリテン作曲「戦争レクイエム」（ビエイト演出）、フランス・ディジョン劇場では、ワーグナー作曲「ニーベリングの指環」（ヴォータン）、モーツァルト「フィガロの結婚」（伯爵）に出演。リーダーイベントを、ハンマーフルーゲルの名手ジョス・ファン・インマゼールと組み、パーゼル、ブリュール、ディジョン、ゲント、パリ、レーゲンスブルグ、ヴェスレーなどで開催している。

CDも数多くリリースし、シューベルト「冬の旅」（オルフェール金賞、ラ・ムジカ・コレア賞）、ヘンデル「アポロとダフネ」（スタンリー・サディ&グラモフォン賞）、メンデルスゾーン「エリアス」（エヒョー誌賞）など受賞も多い。クラウド・フォスヴィンケル製作のテレビ映画「冬の旅 シベリアのシューベルト」は、パウアーのシベリア鉄道を使ったリサイクル旅行の冒険を撮ったドキュメンタリーフィルムで、何度もテレビ放映されている。2015年にはミラノ・スカラ座にてハイ

ドン「天地創造」（ズービン・メーター）、デンマーク・ナショナル・チェンバーオーケストラ（アダム・フィッシャー）、MDRシンフォニーオーケストラ（フィリップ・アーマン）、NDRシンフォニーオーケストラ（ミヒャエル・ギーレン）等の共演が予定されている。また数多くの初演を行い、シュナイダー・ショット音楽賞を受賞。作曲家で指揮者のクシユトフ・ペンデレツキーとは特別親交が深い。ドイツ・ニーダーバイエルン地域で開催されるクルトゥアヴァルト音楽祭の創設者であり、総監督である。

ウタ・ヒールシャー（ピアノ） Uta Hielscher

東京生まれ。幼年よりピアノ教育を受け、中村ミキ子氏に師事。ミュンヘン国立音楽演劇大学にて、ピアノをミヒャエル・シェーファーに、歌曲伴奏法をヘルムート・ドイチュ、ジークフリート・マウザー、ヴォルフラム・リーガーに、室内楽をモニカ・レオンハルトの各氏に師事。ドイツ音楽コンクール、国際室内楽コンクール（パヴリア）、青山音楽財団で受賞。歌曲伴奏のみならず室内楽奏者として活躍中。トーマス・パウアーと共に世界各地の音楽祭でリーダーイベントに出演、好評を得た。



Photo: Ulli Myrzik

ナクソス、アルスムジチよりシューマン、R・シュトラウス、マーラーの歌曲をリリース。シューマンの歌曲集「詩人の恋」は、高い評価を得ている。現在、ドイツ・ニーダーバイエルンのクルトゥアヴァルト音楽祭事務局長。

2015. 10/27 四
午後7時

ドイツロマン派最後の巨匠
イェルク・デームス
ピアノリサイタル

2015. 11/17 四
午後7時

数々の名声に輝く異色の天才ピアニスト
ペーター・ヤブロンスキー
ピアノリサイタル

主催・お問合せ・チケット
プロアルテムジク M PRO ARTE USICAE ☎ 03(3943)6677

